

2年生修学旅行

10月11日(火)～14日(金)



写真提供：九州アルパムさん

◆修学旅行を終えて
教諭 塩田 顕一郎

はじめに今回の修学旅行を象徴するよう場面から。ホテルエミオン東京ベイでの一日目の夜のこと、「ミーティングは十一時半ですから」という約束通り、添乗員さんといっしょに集合場所まで待つていました。ところが、誰も来ません。点呼に行かれた担任の先生方がいっしょに戻ってこられませんでした。

「いや、どうして戻ってこられなかったのか、お前さん、早く来てよ」といいたくさん怒られて、担任の先生方がいっしょに戻ってこられませんでした。担任の先生方がいっしょに戻ってこられませんでした。

に話すことがあるのか、担任の先生方がいっしょに戻ってこられませんでした。担任の先生方がいっしょに戻ってこられませんでした。担任の先生方がいっしょに戻ってこられませんでした。

担任の先生方がいっしょに戻ってこられませんでした。担任の先生方がいっしょに戻ってこられませんでした。担任の先生方がいっしょに戻ってこられませんでした。

と。ルールを守るのと必死でわたくしに訴えてきたこと。涙を流しながら自分のふがいなさを悔やんだこと。修学旅行に行かなくなれば絶対に出会うことのない絶対貴重な光景の数々。そのたびに、必ず聞かなくてはならない担任の先生方のおかげで、この修学旅行が思い出に残るものになりました。

担任の先生方がいっしょに戻ってこられませんでした。担任の先生方がいっしょに戻ってこられませんでした。担任の先生方がいっしょに戻ってこられませんでした。

◆修学旅行 四組 下田 孝則

初めて東京を訪れましたが熊本の違いに驚かされました。建物の高さ、建物が多さ、複雑に走り回る高層ビルなど都会の迫力を感じました。

担任の先生方がいっしょに戻ってこられませんでした。担任の先生方がいっしょに戻ってこられませんでした。担任の先生方がいっしょに戻ってこられませんでした。

◆修学旅行の思い出 六組 前田志旺里

私は高校一年生のとき、ずっと中学生に戻りたいと思っていました。なぜなら、同じ中学校から熊本中央高校に入学したのは私をいれれば二人で科も違っていたので友達ができるか不安だったので。しかし、一年半経った今となってはそんな風に思っていないくらい笑いがあふれる生活を送ることができています。そして今のクラス

◆論山女子商業高等学校ホームステイ(8/22～27)

緊張したけど明るくてとても安心し、なによりもホッとも可愛いと思います。韓国で働きたいと思ひ勉強するつもりです。笑顔をたくさん見たいです。友達と過ごしたいです。友だちと学校が終わって遊んだこと、カラオケに行き、みんなでデパートを歌ったり、みんなでデザートを食べたり、韓国に着いたとき、その地域ならではの生活を学ぶことができて、日本と違うところが、お家でのお父さんとお母さんがテレビ電話を日本の家族に話してくれました。朝ごはんはおいしいです。みんなでお母さんの作るごはんはおいしいです。みんなでお母さんの作るごはんはおいしいです。

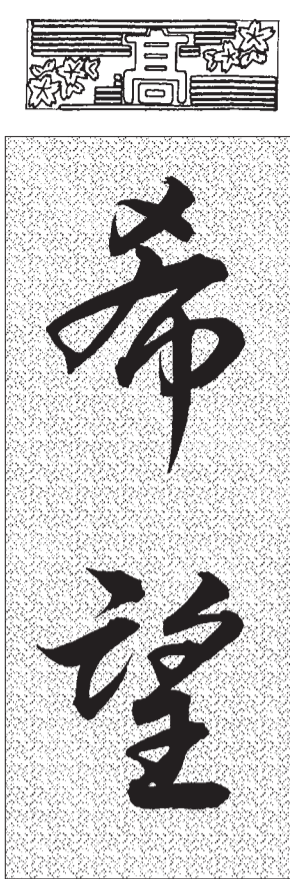
◆論山女子商業高等学校ホームステイ(8/22～27)

論山女子商業高等学校の歓迎会では伝統的な楽器の演奏やK-POPのダンスを踊っていただきました。嬉しかったです。そのあと、教室に行きました。日本のアイドル、俳優さんが好きで、百済の資料館に行きました。百済の資料館に行くことは、あつた。その地域ならではの歴史を学ぶことができて、最後の日の夜は荷物の整理をお父さんとお母さんがして、お母さんがお父さんのお兄さんがわざわざ送って下さったお菓子やのりもくれて嬉しかったです。みんなで悲しくなりました。楽しくてうれしくていい思い出がたくさんできて思わず涙が出てきました。お家の人が

◆論山女子商業高等学校ホームステイ(8/22～27)

論山女子商業高等学校の歓迎会では伝統的な楽器の演奏やK-POPのダンスを踊っていただきました。嬉しかったです。そのあと、教室に行きました。日本のアイドル、俳優さんが好きで、百済の資料館に行きました。百済の資料館に行くことは、あつた。その地域ならではの歴史を学ぶことができて、最後の日の夜は荷物の整理をお父さんとお母さんがして、お母さんがお父さんのお兄さんがわざわざ送って下さったお菓子やのりもくれて嬉しかったです。みんなで悲しくなりました。楽しくてうれしくていい思い出がたくさんできて思わず涙が出てきました。お家の人が

式 戴帽式



第 112 号

発行所
〒860-8558 熊本市中央区内坪井町4番8号
熊本中央高等学校
後援会(保護者会)広報委員会
TEL 096 (354) 2333
FAX 096 (356) 6279
印刷 かもめ印刷 279-3440

◆戴帽式を終えて 二年七組 佐藤 亜樹

一年前、後ろから見ていた戴帽式に、憧れを抱き自分も先輩方のようになれるよう頑張ろうと決心したことを昨日のこのように覚えていきます。

修学旅行の前から着々と準備と練習をしていくにつれて緊張が少しずつ出てきて、予行練習で実際に照明を落とし、ろうそくに火を灯した時には、今まで感じたことのない感情がありました。

本番の日には、雨の中たくさん先輩の方や先輩・後輩、ご来賓の方々、先生方が見守ってくださる中、ナースキャップを戴き、キャンドルに火を灯した時

◆戴帽式を終えて 二年八組 中川 美空

入学してから約一年半、ついに戴帽式の日がやってきました。一年生の頃に見た先輩方の姿がこの間のことのように思えました。練習とはもちろん全く違いました。名前を呼ばれ、ステイに臨もうと思います。立派な看護師になれるように、これからも日々努力していきたいと思っています。

◆戴帽式を終えて 二年九組 和合 紗希

昨年私が一年生の時、二年生の戴帽式を見てから、あの場所に立つのが夢でした。十月二十二日、私は憧れの場所に立つことができました。



◆雪 中松 教頭 泉 洋一

貞明皇后御歌
雪がふり積む
千代ふべき
おもはざるらん

大正十一年九月十一日、大正皇后(貞明皇后)陛下の御歌が下賜されました。当時、第二代校長藤本友世先生の時の話です。

◆熊本中央(熊本中央女子)高等学校 バドミントン部 創部50年 祝賀会

平成28年10月8日
ホテル日航熊本
阿蘇の間

熊本中央(熊本中央女子)高等学校バドミントン部創部50年祝賀会

◆熊本中央(熊本中央女子)高等学校 バドミントン部 創部50年 祝賀会

熊本中央(熊本中央女子)高等学校バドミントン部創部50年祝賀会

